

6 令和7年度事業報告

1 事務局

① 理事会・評議員会等の開催状況

令和7年度においては、次の理事会・評議員会等を開催し、議案の審議を行った。

会議名	開催年月日	議案	結果
第319回 理事会	R7.6.9	1 令和6年度事業報告及び収支決算の件 2 定時評議員会の招集の件 [報告] 1 令和6年度における職務執行状況について	1 可決 2 可決
令和7年度 定時評議員会	R7.6.30	1 令和6年度事業報告及び収支決算の件 2 任期満了に伴う理事の選任の件 3 任期満了に伴う監事の選任の件 4 任期満了に伴う評議員候補者の推薦の件 [報告] 1 第319回理事会の概要について	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決
評議員選定 委員会	R7.6.30	1 任期満了に伴う評議員の選任の件	1 可決
第320回 理事会	R7.7.7	1 理事長の選定の件 (書面による同意)	1 可決
令和7年度 第1回臨時評 議員会	R7.8.1	1 理事の欠員に伴う選任の件 (書面による同意)	1 可決
第321回 理事会	R8.3.9	1 令和7年度収支予算補正の件 2 令和8年度事業計画の件 3 令和8年度収支予算の件 4 臨時評議員会の招集の件 [報告] 1 令和7年度における職務執行状況について	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決
令和7年度 第2回臨時評 議員会	R8.3.30	1 令和7年度収支予算補正の件 2 令和8年度事業計画の件 3 令和8年度収支予算の件 [報告] 1 第321回理事会の概要について 2 令和7年度の経営目標達成状況等について	1 可決 2 可決 3 可決

② 施設の管理運営

毎月開催する経営会議、所属代表者会議等を通じ、大阪がん循環器病予防センターの事業について、効果的、効率的な管理運営を行った。

③ 中期経営計画の推進

大阪がん循環器病予防センターの運営にあたっては、第3期中期経営計画（令和4年度～令和8年度）に定めた令和7年度に収支均衡を図るという目標に向けて進捗状況の把握・管理に努めた。

2 大阪がん循環器病予防センター

【がん予防検診事業】

がんや循環器病など生活習慣病予防のためのけんしん（健診・検診）事業ならびに組織型検診推進事業の実施による府内検診機関の検診精度の向上を図り、府民の健康の保持・増進に寄与する事業

[1] けんしん（検診・健診）

(1) がん検診・検査事業

① がん検診

検診機関が不足している市町村や受診率が低い中小企業でのがん検診受診率向上に資するため、大阪がん循環器病予防センターの施設や検診車において、厚生労働省の指針に基づく精度の高い、胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診や、細胞診・組織診検査を行った。また、これらの検診を通じて培ったノウハウを活用し、市町村や民間の検診機関への支援を行うことにより、府民のがんの早期発見に寄与した。

(実施場所) 大阪がん循環器病予防センター、各市町村保健センター等

(検診内容) 胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、総合健診、細胞診検査、組織診検査

(検診実績)	・胃がん検診	25,249件	[うち精密検査	1,005件]
	・子宮がん検診	17,830件	[うち精密検査	1,059件]
	・乳がん検診	24,336件	[うち精密検査	2,583件]
	・肺がん検診	19,359件	[うち精密検査	953件]
	・大腸がん検診	32,618件	[うち精密検査	4件]
	・総合健診	19,475件	[うち精密検査	897件]

(循環器健診+がん検診等)

(資料：3 資料：4)

・細胞診検査 18,732件

・組織診検査	566 件
・大腸便潜血検査	32,614 件

② 分析データの提供

がん予防に寄与するため、がん検診、細胞診検査等の結果について「年報」を作成し、国、大阪府、府内市町村、その他関係機関に提供した。

(提供先) 国(国立国会図書館・厚生労働省)、大阪府、府内市町村、国立がん研究センター、県立がんセンター、大阪府医師会・郡市区医師会、対がん協会、結核予防会等関係団体など

③ 精密検査のための受診勧奨

がん検診で異常を指摘された受診者に対して、精密検査のための受診勧奨を行った。

(2) 循環器病健診事業

① 特定健診・特定保健指導

特定保健指導は保健師・管理栄養士により健診当日に個別指導を施行した。健診受診者の生活習慣に対する自覚を促すことで重篤な循環器病(心筋梗塞、脳梗塞、末梢動脈閉塞症など)予防を推進した。指導内容は症例ごとの健康状態に合わせ、高血圧・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病に加え、禁煙・飲酒制限などの生活習慣指導に加え症例によっては若年者に多い貧血・栄養障害・不眠・運動不足、中年以降の女性に多い骨粗鬆症などに対する保健指導を行った。

実績：令和7年度合計1,127件(令和6年度に比べ228件の増加)

内訳：特定保健指導897件、保健指導230件

② 総合健診

第4期がん対策推進基本計画に基づき「がん検診」の受診率の向上を推進するため、がん検診と特定健診・循環器病検診(職域健診など)を併せた「総合健診」を実施した。ここでは検診と健診を融合した「けんしん」を人間ドック専門医・各領域の専門医により、高精度、高密度な検査と共に実施した。

実績：令和7年合計18,578件(令和6年度に比較して343件増加)

内訳：総合健診(自治体、企業健診)14,144件

人間ドック(充実ドック含む)4,434件

③ 労災二次健診・保健指導

労災二次健診対象者に対し、循環器病検査（頸動脈エコー検査、心臓エコー検査）を行い、重篤な循環器病発症予防のための保健指導を医師・保健師により実施した。

高血圧・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病に加え、若年者に多い貧血・栄養障害・不眠・運動不足、中年以降の女性に多い骨粗鬆症などに対する保健指導を行った。

実績：令和7年度 16名に対して施行した。

④ 精密検査のための受診勧奨

精査が必要な生活習慣病に関する異常が指摘された場合、健診当日または後日の結果説明時に担当医師により、精密検査の施行、院外紹介を積極的に行い、循環器病を中心とした生活習慣病の発症予防並びに早期診療を進めた。

[2] 組織型検診推進事業（受託事業）

府内の市町村及び民間がん検診機関の検診精度を高めることにより、府民が安心してがん検診を受診できる環境づくりを推進していくため、大阪府から委託を受け、「組織型検診推進事業（※1）」を実施した。実施にあたっては、当センターを府内における「精度管理センター（※2）」として精度の高いがん検診を広く府民に提供していくため、市町村や民間がん検診機関の行うがん検診の実態把握を行った。

※1 市町村において、住民基本台帳を活用し、正確ながん検診対象者台帳を作成し、個人ごとの受診状況等を把握した上で受診勧奨を行い、有効性が確立された精度の高いがん検診を実施するもの。

※2 市町村等の実施するがん検診に対する技術支援などを行う、府内唯一のセンター

① がん検診の精度管理基礎調査

各種がん検診の精度管理体制を確立するための基礎データとして、市町村が実施する胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診の検診成績を収集し、集計・解析等を行い、その結果をまとめた冊子「大阪府におけるがん検診」を作成した。

<「大阪府におけるがん検診」の作成・配布>

市町村に対し、各種がん検診にかかる精度管理基礎調査を毎年度実施し、府内における各種がん検診の実施状況、精度管理の実態等を集計・解析し作成した。府内の市町村・保健所、医師会・歯科医師会・薬剤師会等に無償で配布した。

② 市町村が実施するがん検診の実態調査・実地支援事業

市町村が実施するがん検診の実態把握を行い、精度管理の課題を抽出し、助言・提言等を行った。

<研修会の開催>

がん検診の精度管理や府が実施するがん検診受診率向上等施策について、市町村担当者等が理解を深めることを目的に、国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部特任部長 中山 富雄 先生を講師に迎え、研修会を開催した。

(対象者) 市町村がん検診担当者(保健師・事務職員等)

(開催日) 令和7年7月15日

(参加人数) 69名

<研修会への協力>

大阪府が開催した「令和7年度がん検診の受診勧奨にかかる研修会」において、企画の提案、当日の運営補助を行った。

(対象者) 市町村がん検診担当者(保健師・事務職員等)

(開催日) 令和8年1月26日

(参加人数) 45名

<電話による個別相談> 112件

③ 組織型検診推進のための市町村支援事業

大阪府精度管理システムを運用して、収集したがん検診の個人別のデータ(個人名を除く受診者の性別・年齢・受診の有無・精検の要否・精検の結果等)を、分析、評価の上、受診率・精検受診率・要精検率等に課題のあるところには改善策の提案・助言を行い、受診率及び精度管理の向上を図った。

(個別支援) 19市町村、2地域(阪南地域、大東・四條畷地域)計27市町村(精検受診率の向上、精度管理委員会の開催、個別受診勧奨資材の提案、検診受診率向上についての効果検証などの支援を行った。)

[3] 受診促進事業

がん検診受診者の増加及び定着のため、社会保険の中で最も加入者が多い全国健康保険協会(以下協会けんぽ)被扶養者を対象に、特定健診の受診案内時に大腸がん検診キットを送付し、特定健診受診時に予約なしで受診できる大腸がん検診を実施し、その受診者に対するフォローアップを行い、受診の定着を図った。

(事業内容) 大阪府内3市の協会けんぽ被扶養者に対し、16回の大腸がん検診を

実施。受診者の傾向を検討し、前年度受診者を対象に継続受診につながるよう、受診勧奨はがきを作成した。

[4] 小児がん治療経験者長期フォローアップ支援事業

小児がん治療終了後（治癒・寛解後）に成長や時間の経過により出現する二次がんの早期発見・早期治療のための健診を実施した。本健診は、小児期に受けた造血幹細胞移植、抗がん剤による化学療法そして放射線治療によりがん治療が終了し数年から10年以上経過した後に出現する晩期合併症（二次がん・心血管障害・内分泌障害・神経障害）からがん治療経験者を守り、健康を維持することを目的とし、大阪府の委託を受け、長期フォローアップ健診を16歳～40歳のがん治療経験者を対象として実施した。

実績：健診受診者数18名（再受診2名）（2024年8月～2025年3月）

結果：二次性悪性腫瘍の症例は認めなかったが、疑い症例（甲状腺腺腫疑い）を1例認めた。内訳は血液検査：D判定3名、C判定2名、甲状腺超音波検査：D判定1名、C判定3名、E判定1名、乳腺超音波検査：C判定3名であった。さらに日常生活で困った症状：18名全員において認めた。内訳は心血管障害：C判定8例、内分泌機能障害：C判定7例、月経不順：女性14例中9例に認めた。以上より今後は受診者数の増加を目的として、各医療機関への働きかけと、がんサバイバーの健康に対するフォローアップの継続と確立が今後の課題として挙げられる。

[5] がん予防啓発事業

がんから府民の健康と生命を守るため、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善によりがんの発症を予防する一次予防、がんの早期発見、早期治療のための定期検診の重要性などがんの二次予防に関する知識の啓発、普及を行った。

① がん予防キャンペーンの実施

当財団をはじめ、関係9団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当財団）において、府民にがんに関する正しい知識・がん検診の必要性を啓発し、がんの早期発見につながる検診受診率の向上を目指し、がん予防キャンペーンを実施するとともに、府内の市町村を中心に「がん検診ポスター」の作成・配付、9月の「がん征圧月間」を中心に「がん検診啓発リーフレット」の配付など啓発活動を行った。また講演会の開催及びWeb上での講演動画の公開を行った。

- (対象者) 府民
(配布部数) 「ブレスト・アウェアネスカード」「5がん検診啓発リーフレット」等 約17,000部
(周知方法) 財団ホームページ、チラシ等
(実施時期) 通年
(当財団の役割) 実行委員会において、キャンペーン内容の企画を行うほか、リーフレット等の作成、配布のための準備等、実行委員会の運営を行う。

<講演会>

- (講演テーマ) 「すい臓がんを早期にみつけるために～検診・診断・治療の最前線～」
(令和7年10月4日)
(対象者) 府民(参加者:122名)
(実施場所) OMMビル1階 グラン
(動画掲載場所) がん予防キャンペーン大阪2025サイト
(大阪がん循環器病予防センターホームページ内)
(掲載期間) 令和7年11月10日～
(閲覧数) 17,931回(講演動画3本の合計)
(共催団体) 「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会の9団体
(役割分担) テーマは当財団と共催団体で企画し、広報、資料準備、講演会当日の運営やサイトの管理等は当財団が担当

② オンライン市民公開セミナーの実施

がん検診の早期発見、早期治療の重要性を府民に周知するために、専門医による講演をYouTubeにて配信した。

- (講演テーマ) 「がんサバイバーの皆様へ」他 全12テーマ
(閲覧数) 38,154回(令和8年3月末時点)

③ 医療関係者等を対象とした講演等

医師、診療放射線技師等を対象に、がん予防、がん検診等について講演を行うとともに、医師等医療従事者の自己学習・研修に寄与するため、当センターで行う検(健)診への医師等の受入れや症例検討会を行った。

<講演会等>

- (対象者) 医師、診療放射線技師、臨床検査技師等
(周知方法) 主催団体の広報(ホームページ、ポスター、チラシ等)
(実績) 年19件(資料:2)

(実施場所) 府内等

(講師) 医師、診療放射線技師等

[6] 調査・研究事業

検診精度の向上・普及を目的に、がん検診の技法やその有効性の評価に関する調査研究を行った。調査研究の成果は、学会発表や学術講演、論文発表等により公表した。

(研究テーマの例)

- ・ 検診腹部超音波検査におけるカテゴリー分布とがんの陽性反応適中度

(実績) 学会発表・学術講演：32件、著書・研究論文発表：22件、厚生労働省等の研究費による研究班への参画：3件

[7] 研究助成

「がん予防対策基金研究助成制度」に基づき、寄附金を募るとともに、当該基金を財源として府内の保健関係者、医療関係者のがんの一次予防、二次予防に関する調査研究に対し助成を行い、府民のがんの予防及び早期発見の推進を図った。

(令和7年度 助成先(1件))

- ・ 芳村 悠太 氏 (日本生命病院ニッセイ予防医学センター がん対策班)
『日本人女性のリスク層別化乳がん検診に対する意識調査』

[8] 健診システム更新

令和9年4月に導入する新健診システムについて、導入システムの要件定義等検討を進めた。